本指導案は、国立教育政策研究所教育課程センターから評価等に関する資料が公表される前の、編集段階の教師用指導書を元に作成しております。

そのため、本時の目標やめあてについては、供給版の指導書と異なる部分があります。また、評価規準についても編集段階の指導書と同じ記述にしているため、5領域には分けておらず、評価観点のみで、毎時間記入してあります。ご了承ください。

Unit 1 Hello, friends! (pp.10-17)

本単元におけるゴールとなる言語活動

「AET に自分たちのことを知ってもらうために、自分たちのプロフィール帳を AET と一緒に作ろう!」

指導計画 1/8時間 (pp.2-3, 8-11)

本時目標:(仮)自己紹介や好きなもの・ことなどのやり取りについて、おおよその内容を理解することができるようにする。

主な言語材料: My name is~. I like ~. What sport do you like? など

準備:指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー (PD)、教師用絵カード、ワークシート (WS)

時間	児童の活動	お導者の活動	準備物
	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	
	り,体調等について答えたりする。	り、体調等について尋ねたりする。	
	【Hi, English!】		
	・新しい教科書を開き,一年間の学習に	・Check Your Steps①までの単元と中心	
	意欲をもつ。	となる活動を知り、見通しをもてるよ	
	・Check Your Steps①までの単元と中心	うにする。	
	となる活動を知り、見通しをもつ。	・本単元で目指す姿、流れを知り、単元	
	・本単元で目指す姿、流れを知り、単元	の見通しをもてるようにする。	
	の見通しをもつ。	・pp.2-3 の写真を説明し,p.3 の右下に	
	・p.3 の下部の空欄に記入し,発表する。	英語を使って将来したいことを記入	
		するよう伝える。その後, 発表し合う。	
導入	【Small Talk】		
20分	・「学び方みいつけた!①」 を見て, どの	「学び方みいつけた!①」で示されてい	
20);	ような場面があるか指導者とのやり	る場面から、4年までの学習について	
	取りを通して, 英語を聞いたり話した	ふり返りながら, 慣れ親しんできた語	
	りする。	彙や表現を確認する。	
		※全体でやり取りしながら、個にも尋ね	
		ていくことで,学級の実態や個の実態	
		を把握できるようにする。	
	[Let's sing] Nice to meet you.		
	• Good (morning, afternoon, evening)	・PD の p.14 [1日の時間](morning,	
	を練習する。	afternoon, evening)を練習する。	指導者用デジ
	曲を聞き、歌えるところを歌う。	・一度曲を流し、内容について質問する	タルブック
		・曲を再度流し、歌えるところを歌うよ	
		うに励ます。	

	【Let's Chant】 What sport do you like?	・一度チャンツを流し、内容について質問する。	指導者用デジ
	・チャンツを聞き,歌えるところを歌う。	・チャンツを再度流し、歌えるところを歌うように励ます。	タルブック
	【めあての確認】		
		ことなどのやり取りについて, Fを理解しよう。	
	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を 確認しながら、この時間で自分ができ るようにすることや意識することの 見通しをもつ。	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を 確認しながら、この時間で自分ができ るようにすることや意識することの 見通しをもてるようにする。	
	【Word Link】PD の p.7(スポーツ) ・スポーツの単語を復唱する。	・音声を使って、スポーツの単語を復唱 しながら確認する。	
	【Let's try 1】ポインティングゲーム・言われた PD の単語に触る。・指導者の指す絵カードの単語を言う。・スポーツのクイズの質問に答える。	 ・指導者が言った PD の単語に触るよう伝える。 ・指導者が出した絵カードの単語を言うよう伝える。 ・スポーツに関するクイズをする。 (例) Tell me the sports that use a ball. 	PD 教師用絵カー ド
展開 22 分	【Starting Out】 ・No.1~3 までの音声を聞いて、本体の A~E の□に順番に番号を記入する。 ・WS の 1 に音声を聞いてわかったこと、気付いたことを記入する。 ・聞き取れたこと、気付いたことなどを 発表する。 ・No.3(B)の音声をもう一度聞く。	・No.1~3までの音声を聞いて、本体の A~E の□に順番に番号を記入するよう伝える。必要に応じて、複数回聞かせてもよい。 ・答え合わせをする。 ・WS を配り、音声を聞いてわかったこと、気付いたことを WS の 1 に記入するよう伝える。 ・聞き取れたこと、気付いたことなどを尋ねる。 ・I'm~.という表現も、名前を伝えることができることに気付くよう指導する。 ・No.3(B)の音声をもう一度聞かせる。 【評価】 ○主 (自己紹介についてのやりとりを主体的に聞き取り、理解しようとしている)	指導者用デジ タルブック WS
	【Let's Chant】 How do you spell your name? ・チャンツを聞き, 歌えるところを歌う。	・一度チャンツを流し、内容について質問する。・チャンツを再度流し、歌えるところを歌うように励ます。	指導者用デジ タルブック
L	İ	· =	

	【Small Talk】	・既習表現を使い,本単元の自己紹介に	
		つながる語彙や表現を入れながら,全	
	本単元につながる Small Talk として	体でやり取りしたり、個に尋ねたりす	
	考えられる例	る。	
	・自分の名前	※全体でやり取りしながら、個にも尋ね	
		ていくことで,学級の実態や個の実態	
		を把握できるようにする。	
		・様子を見て、全体でのやり取りと同じ	
		テーマに沿って、ペアでやり取りす	
		る。	
	・本時をふり返り、コミュニケーション	・本時をふり返り、児童のよかったとこ	
まとめ	の図り方に関する気付きや、言語に関	ろをほめる。	
	することで気付いたこと等を発表す	・児童が挙げた気付きにフィードバック	
3分	る。	する。	
		・挨拶をする。	

指導計画 2/8時間 (pp.10-12)

本時目標:(仮)自己紹介や好きなもの・ことなどのやり取りについて、おおよその内容を理解することができるようにする。

主な言語材料: How do you spell your name? E-M-I-L-Y. Emily. What sport do you like? など

準備:指導者用デジタルブック, ピクチャーディクショナリー (PD), 教師用絵カード

時間	導者用アンタルノック, ピクテャーティク 児童の活動	指導者の活動	準備物
	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	
	り、体調等について答えたりする。	り,体調等について尋ねたりする。	
	[Let's sing] Nice to meet you.	・児童が歌いづらい単語や表現を練習す	
	・曲を聞き、歌えるところを歌う。	る。	指導者用デジ
		・児童と一緒に歌う。	タルブック
		歌えるところを歌うように励ます。	
	【Small Talk】	・既習表現を使い,本単元の自己紹介に	
導入		つながる語彙や表現を入れながら,全	
10 分	本単元につながる Small Talk として	体でやり取りしたり、個に尋ねたりす	
	考えられる例	る。	
	・児童の服や持ち物の色の話題から,	※全体でやり取りしながら、個にも尋ね	
	好きな色の話へ	ていくことで,学級の実態や個の実態	
	・休み時間に行った遊びの話から、好	を把握できるようにする。	
	きなスポーツの話へ	・様子を見て、全体でのやり取りと同じ	
		テーマに沿って、ペアでやり取りす	
		ప .	
	【めあての確認】		
	(仮)自己紹介や好きなもの・	ことなどのやり取りについて,	
	おおよその内容	Fを理解しよう。	
	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	
	確認しながら、この時間で自分ができ	確認しながら、この時間で自分ができ	
	るようにすることや意識することの	るようにすることや意識することの	
	見通しをもつ。	見通しをもてるようにする。	PD
	【Word Link】PDのp.6(色,食べ物)) <u>1.</u>	
展開	・色や食べ物の単語を復唱する。	 ・音声を使って,色や食べ物の単語を復	教師用絵カー
25 分		唱しながら確認する。	ド
	【Let's try 1】ポインティングアクティ		
	ビティ		
	・言われた PD の単語に触る。	・指導者が言った PD の単語に触るよう	
	・指導者の指す絵カードの単語を言う。	伝える。	
		・指導者が出した絵カードの単語を言う	
		よう伝える。	
	[Starting Out]	・No.4~5 までの音声を聞いて,本体の	指導者用デジ
	・No.4~5 までの音声を聞いて,本体の	A~E の□に順番に番号を記入させ	タルブック

文字 ・指導者が言う文字のカードを見せる。 前を復唱する。 タルブック 指導 ・巻末の文字カード(大文字)を切り離				
・No.3(B)の音声をもう一度開く。 ・答え合わせをする。 ・ 関き取れたこと、気付いたことなどを		A~Eの□に順番に番号を記入する。	る。必要に応じて、複数回聞かせても	
・No.3(B)の音声をもう一度問く。 ・問き取れたこと、気付いたことなどを 尋ねる。 ・No.3(B)の音声をもう一度問かせる。 【評価】 ○註(自己紹介や学校生活についてのや りとりを主体的に関き取り、理解しよ うとしている) 【Let's Watch and Think】 ・音声を開いて、わかったことを教科書 に書き込む。 ・わかったことを発表する。 ・音声をもう一度聞く。 ・分かっていることを発表する。 ・分かっていることを発表する。 ・分かっていることを発表する。 ・分かっていることを発表する。 ・活声を聞きながら、登場人物の好き嫌 いを練で許ぶ。 ・答え合わせをする。 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人のやり取りをもとに、ベアで自分 のことについてやり取りする。 ・ベアを替えて、複数回やり取りする。 ・ベアを替えて、複数回やり取りする。 ・ベアを替えて、複数回やり取りする。 ・ベアを背えて、複数回やり取りする。 【評価】 ○知(自分や友達にすきなもの・ことな どについてのやり取りで使用される 語句や表現に慣れ親しんでいる) 【Sounds and Letters】 ・文字カードを机の上に並べる。 ・ガルファベットチャートで大文字の名 指導者用デ タルブック を帯の文字カード(大文字)を切り騒		・聞き取れたこと, 気付いたことなどを	よい。	
		発表する。	・答え合わせをする。	
No.3(B)の音声をもう一度関かせる。 【評価】		• No.3(B)の音声をもう一度聞く。	・聞き取れたこと、気付いたことなどを	
【評価】 ○国 (自己紹介や学校生活についてのやりとりを主体的に関き取り、理解しようとしている) **** ***			尋ねる。	
Tuet's Watch and Think]			・No.3(B)の音声をもう一度聞かせる。	
Time (国 日 紹介や学校生活についてのやりとりを主体的に関き取り、理解しようとしている) (Let's Watch and Think]				
Let's Watch and Think				
【Let's Watch and Think】 ・音声を聞いて、わかったことを教科書 に書き込む。 ・わかったことを発表する。 ・音声をもう一度聞く。 ・分かっていることを発表する。 ・分かっていることを発表する。 ・分かっていることを発表する。 ・分かっていることを発表する。 ・(Let's Listen ①】 ・音声を聞きながら、登場人物の好き嫌いを線で結ぶ。 ・答え合わせをする。 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人のやり取りをもとに、ペアで自分のことについてやり取りする。 ・ベアを替えて、複数回やり取りする。 ・ベアを替えて、複数回やり取りする。 ・ベアを替えて、複数回やり取りする。 ・ベアを替えて、複数回やり取りする。 「評価】 ○知(自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) 【評価】 ・文字カードを机の上に並べる。 ・治導者が言う文字のカードを見せる。 ・巻末の文字カード(大文字)を切り離			○ 主 (自己紹介や学校生活についてのや	
【Let's Watch and Think】				
・音声を聞いて、わかったことを教科書 に書き込む。 ・わかったことを発表する。 ・音声をもう一度聞く。 ・分かっていることを発表する。 ・分かっていることを発表する。 ・ 音声を聞きながら、登場人物の好き嫌いを線で結ぶ。 ・ 答え合わせをする。 ・ 二人になりきり、自己紹介をする。 ・ 二人のやり取りをもとに、ペアで自分のことについてやり取りする。 【評価】 ○知(自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) 【写の知な and Letters】 ・ 文字カードを机の上に並べる。 ・ 治導者が言う文字のカードを見せる。 ・ 巻末の文字カード(大文字)を切り離	-		うとしている)	
 に書き込む。 ・わかったことを発表する。 ・音声をもう一度聞く。 ・分かっていることを発表する。 「Let's Listen ①】 ・音声を聞きながら,登場人物の好き嫌いを線で結ぶ。 ・答え合わせをする。 ・二人になりきり,自己紹介をする。 ・二人になりきり,自己紹介をする。 ・二人のやり取りをもとに、ペアで自分のことについてやり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 【評価】 (回知)(自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) 【Sounds and Letters】 ・文字カードを机の上に並べる。 ・指導者が言う文字のカードを見せる。 ・巻末の文字カード(大文字)を切り離 				
 ・わかったことを発表する。 ・音声をもう一度聞く。 ・分かっていることを発表する。 ・分かったことを発表する際、アメリカやメキシコについて知っていることを尋ねる。 【Let's Listen ①】 ・音声を聞きながら、登場人物の好き嫌いを線で結ぶ。 ・答え合わせをする。 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人のやり取りをもとに、ペアで自分のことについてやり取りする。 ・ベアを替えて、複数回やり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 【評価】 ○知(自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) 【Sounds and Letters】 ・文字カードを机の上に並べる。 ・指導者が言う文字のカードを見せる。 ・巻末の文字カード(大文字)を切り離 				
 ・音声をもう一度聞く。 ・分かっていることを発表する。 ・分かったことを発表する際、アメリカやメキシコについて知っていることを尋ねる。 【Let's Listen ①】 ・音声を聞きながら、登場人物の好き嫌いを線で結ぶ。 ・答え合わせをする。 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人のやり取りをもとに、ペアで自分のことについてやり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 【評価】 ○知(自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) 【Sounds and Letters】 ・文字カードを机の上に並べる。 ・指導者が言う文字のカードを見せる。 ・巻末の文字カード(大文字)を切り離 		-		
・分かっていることを発表する。 ・分かったことを発表する際、アメリカやメキシコについて知っていることを尋ねる。 【Let's Listen ①】 ・音声を聞きながら、登場人物の好き嫌いを線で結ぶ。 ・答え合わせをする。 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人のやり取りをもとに、ペアで自分のことについてやり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 【評価】 ○知(自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) 【Sounds and Letters】 ・文字カードを机の上に並べる。 ・指導者が言う文字のカードを見せる。 ・巻末の文字カード(大文字)を切り離				
ではいいて知っていることを表れる。 【Let's Listen ① 】 ・音声を聞きながら、登場人物の好き嫌いを線で結ぶ。 ・答え合わせをする。			-	
【Let's Listen ① 】		・分かっていることを発表する。		
【Let's Listen ①】 ・音声を聞きながら、登場人物の好き嫌いを線で結ぶ。 ・答え合わせをする。 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人のやり取りをもとに、ペアで自分のことについてやり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 「評価】 ○知(自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) 【Sounds and Letters】 ・文字カードを机の上に並べる。 ・指導者が言う文字のカードを見せる。 指導者が言う文字のカードを見せる。 ・巻末の文字カード(大文字)を切り離				
 ・音声を聞きながら、登場人物の好き嫌いを線で結ぶ。 ・答え合わせをする。 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人のやり取りをもとに、ペアで自分のことについてやり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 【評価】 (自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) 【Sounds and Letters】 ・文字カードを机の上に並べる。 ・指導者が言う文字のカードを見せる。 ・巻末の文字カード(大文字)を切り離 	-		を尋ねる。	
 いを線で結ぶ。 ・答え合わせをする。 ・ご人になりきり、自己紹介をする。 ・二人のやり取りをもとに、ペアで自分のことについてやり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 【評価】 (回知(自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) 【Sounds and Letters】 ・文字カードを机の上に並べる。 ・指導者が言う文字のカードを見せる。 指導者の文字カード(大文字)を切り離 				
 ・答え合わせをする。 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人のやり取りをもとに、ペアで自分のことについてやり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 【評価】 (回知(自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) 【Sounds and Letters】 ・文字カードを机の上に並べる。 ・指導者が言う文字のカードを見せる。 指導者の文字カード(大文字)を切り離 				
 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人のやり取りをもとに、ペアで自分のことについてやり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 【評価】 回知(自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) 【Sounds and Letters】 ・文字カードを机の上に並べる。 ・指導者が言う文字のカードを見せる。指導者の文字カード(大文字)を切り離 ・二人になりきり、自己紹介をする。 ・二人のやり取りをもとに、ペアで自分のことについてやり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 ・どについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) ・アルファベットチャートで大文字の名前を復唱する。・参末の文字カード(大文字)を切り離 				
 ・二人のやり取りをもとに、ペアで自分のことについてやり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 【評価】 (国) (自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) 【Sounds and Letters】 ・文字カードを机の上に並べる。 ・指導者が言う文字のカードを見せる。指導者用であるで表示の文字カード(大文字)を切り離 				
のことについてやり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 【評価】 〇知(自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) 【Sounds and Letters】 ・文字カードを机の上に並べる。 ・指導者が言う文字のカードを見せる。 指導者が言う文字のカードを見せる。 ・巻末の文字カード(大文字)を切り離		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
 ・ペアを替えて、複数回やり取りする。 【評価】		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
【評価】				
○知 (自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) 【Sounds and Letters】		・ペアを替えて、複数回やり取りする。	・ペアを替えて, 複数回やり取りする。 	
○知 (自分や友達にすきなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる) 【Sounds and Letters】			【筆花冊】	
どについてのやり取りで使用される 語句や表現に慣れ親しんでいる) 【Sounds and Letters】 ・アルファベットチャートで大文字の名 ・指導者が言う文字のカードを見せる。 指導者が言う文字のカードを見せる。 ・巻末の文字カード(大文字)を切り離 指導者用デ タルブック				
語句や表現に慣れ親しんでいる)【Sounds and Letters】・文字カードを机の上に並べる。・アルファベットチャートで大文字の名指導者用デ文字・指導者が言う文字のカードを見せる。前を復唱する。タルブック指導・巻末の文字カード(大文字)を切り離				
【Sounds and Letters】 ・文字カードを机の上に並べる。 ・アルファベットチャートで大文字の名 指導者用デ 文字 ・指導者が言う文字のカードを見せる。 前を復唱する。 タルブック 指導 ・巻末の文字カード(大文字)を切り離				
・文字カードを机の上に並べる。 ・アルファベットチャートで大文字の名 指導者用デタルブック 文字 指導者が言う文字のカードを見せる。 前を復唱する。 ・巻末の文字カード(大文字)を切り離		[Sounds and Letters]		
文字 ・指導者が言う文字のカードを見せる。 前を復唱する。 タルブック 指導 ・巻末の文字カード(大文字)を切り離			・アルファベットチャートで大文字の名	指導者用デジ
指導・巻末の文字カード(大文字)を切り離	文字			タルブック
			-	
	5分		 して机の上に並べるよう指示する。	巻末文字カー
・指導者は文字の名前を言い、児童に名			・指導者は文字の名前を言い、児童に名	K
前を言うよう伝える。			前を言うよう伝える。	
・本時の学習をふり返り、コミュニケー ・本時をふり返り、児童のよかったとこ	.7. 3	・本時の学習をふり返り、コミュニケー	・本時をふり返り、児童のよかったとこ	
まとめ ションの図り方に関する気付きや、言しろをほめる。		ションの図り方に関する気付きや、言	ろをほめる。	
5分 語に関することで気付いたこと等を · 児童が挙げた気付きにフィードバック	5分	語に関することで気付いたこと等を	・児童が挙げた気付きにフィードバック	

発表する。	する。	
	・挨拶をする。	

指導計画 3/8時間 (pp.12-13)

本時目標:(仮)好きなもの・ことなどについて尋ね合うことができるようにする。

主な言語材料: I like ~. I don't like~. What (color, sport, food) do you like? など

準備:指導者用デジタルブック, ピクチャーディクショナリー(PD), ワークシート(WS)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	
	り,体調等について答えたりする。	り,体調等について尋ねたりする。	
	[Let's sing] Nice to meet you.	・児童が歌いづらい単語や表現を練習す	
	曲を聞き、歌えるところを歌う。	る。	
		・児童と一緒に歌う。	指導者用デジ
		・歌えるところを歌うように励ます。	14号4 用 ノンタルブック
	[Let's Chant]	・チャンツを流し、一緒に歌う。	714797
	How do you spell your name?		
導入	チャンツを聞き、歌う。		
10分	【Small Talk】	・既習表現を使い,本単元の自己紹介に	
10 /		つながる語彙や表現を入れながら、全	
	本単元につながる Small Talk として	体でやり取りしたり、個に尋ねたりす	
	考えられる例	る。	
	・当日の給食メニューの話から、好き	※全体でやり取りしながら、個にも尋ね	
	な食べ物の話へ	ていくことで,学級の実態や個の実態	
展開 22 分	・休み時間に行った遊びの話から、好	を把握できるようにする。	
	きなスポーツの話へ	・様子を見て、全体でのやり取りと同じ	
		テーマに沿って、ペアでやり取りす	
		る。	
	【めあての確認】		
	(仮) 好きなもの・こと	などについて尋ね合おう。	
	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	
	確認しながら、この時間で自分ができ	確認しながら、この時間で自分ができ	
	るようにすることや意識することの	るようにすることや意識することの	
	見通しをもつ。	見通しをもてるようにする。	
	[Let's try ②]		
	・本時のめあてと、学習の流れを知る。	・本時のめあて、学習の流れを確認する。	
	・デモンストレーションを見て、活動の	・AET (または, 児童と) デモンストレ	D.D.
	流れとポイントを理解する。	ーションを行う。	PD
	・活動のモデルとして、先生の好きなも	・児童の実態に応じて, PD で色(p.6)や	THO.
	のを空欄に記入する。	スポーツ(p.7), 食べ物(p.8)の単語を確	WS
	ペアになって好きなものをたずね合	認させてもよい。	
	い,空欄に記入する。	活動のモデルとして、好きな色やスポ	

	lift on the sale of the sale o	A ALL AND THE PROPERTY OF THE	
	・横のペア、前後のペア、という順番で	ーツ、食べ物について児童に質問さ	
	行う。	し、指導者が答えを言う。	
	・ペアを替えながら活動を行う。	・教科書に答えを日本語で記入するよう	
		伝える。	
	[会話モデル例]	・児童の実態をふまえて設定した、コミ	
	A: Hi, I'm Aoi.	ュニケーションを図る上で育成を目	
	B: Hello. My name is Shoma.	指す姿について共通理解を図る。育成	
	A: How do you spell your name?	を目指す姿と, そうでない姿を, デモ	
	B: S-H-O-M-A. Shoma.	ンストレーションを通して比較でき	
	How do you spell your name?	るようにする。	
	A: A-O-I. Aoi.	・育成を目指す姿を意識してコミュニケ	
	Shoma, What (color, sport, food) do	ーションを図ることができている児	
	you like?	童を見取り、ほめる。	
	B: I like \sim .	・困り感のある児童に対し、個別に支援	
	A: Me, too. Good.	する。	
	B: Thank you. Aoi, what (color, sport,		
	food) do you like?	【評価】	
	A: I like \sim .	◎知(自分や友達にすきなもの・ことな	
	B: Good. Nice to meet you.	どについてのやり取りで使用される	
	A: Nice to meet you, too.	語句や表現が身に付いている)	
		○ 思(自分や友達にすきなもの・ことな	
		どについて、学習した語句や表現から	
		言いたいことを選択したり付け加え	
		たりしながら、やりとりしている)	
	【中間のふり返り】	・本時のめあてや、ふり返る際の視点を	
	・本時のめあてや、ふり返る際の視点に	再確認する。	
	沿って、活動をふり返る。	・活動の前半をふり返り、めあてに沿っ	
	行づく、位勤をあり返る。	て活動できていた児童の具体の姿を	
		取りあげ、ほめる。	
	【Let's try ②】	・ 中田のとりにのナルム こ が私とかい	
	・中間のふり返りを生かし、同様に活動	・中間のふり返りを生かし、活動を続け	
	を続ける。	るよう指示する。	
	[Sounds and Letters]	・アルファベットチャートで大文字の名	
	・大文字の A~Z の名前を言いながら描	前を確認する。	
文字	< ∘	・p.86~87 に大文字の A~Z を, 名前を	指導者用デジ
指導		言いながら書くよう指示する。	タルブック
10 分	[Let's Listen 2]	・音声を聞かせて、該当する文字(つづ	
	・聞こえた登場人物の名前のつづりを囲	り)を囲ませる。正しい文字群を見つ	
	t.	けるように指導する。	
まとめ	・本時をふり返り、コミュニケーション	・本時をふり返り、児童のよかったとこ	
3分	の図り方に関する気付きや,言語に関	ろをほめる。	
3 7,	することで気付いたこと等を発表す	・児童が挙げた気付きにフィードバック	
	りることで気付いたこと等を発表す	・冗里か争りに気付さにノイードバック	

	る。	する。	
		・挨拶をする。	

指導計画 4/8時間 (pp.12-13)

本時目標:(仮) Iや自分の名前をローマ字で書くことができるようにする。

語順を意識して好きな色と食べ物を表現できるようにする。

主な言語材料: How do you spell your name? I like ~. I don't like ~.

What (color, sport, food) do you like? \slash \slash

進備:指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー (PD)、教師用絵カード、ふり返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	
	り、体調等について答えたりする。	り、体調等について尋ねたりする。	
	[Small Talk]	・既習表現を使い,本単元の自己紹介に	
		つながる語彙や表現を入れながら、全	
	本単元につながる Small Talk として	体でやり取りしたり、個に尋ねたりす	
	考えられる例	ప .	
	・当日の給食メニューの話から、好き	※全体でやり取りしながら、個にも尋ね	
	な食べ物の話へ	ていくことで,学級の実態や個の実態	
	・休み時間に行った遊びの話から、好	を把握できるようにする。	
	きなスポーツの話へ	・様子を見て、全体でのやり取りと同じ	
\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		テーマに沿って、ペアでやり取りす	
導入		る。	
10分	[Let's Chant]	・チャンツを流し、一緒に歌う。	K)*** T ~ ~ .
	How do you spell your name?		指導者用デシ
	チャンツを聞き、歌う。		タルブック
	【Sounds and Letters】BINGO	・アルファベットチャートで大文字の名	
	・大文字の A~Z の名前を復唱する。	前を確認する。	
	・指導者が示す絵カードの名前を言う。	・絵カードを見せ、児童に名前を言わせ	
	・指導者が指定した 16 文字を p.92 の	る。	教師用絵カー
	BINGO 表に書きこむ。	【評価】	F
	・指導者が言う文字に○をして BINGO	△知(大文字を読むことができる)	
	を行う。	△知 (大文字を書くことができる)	
	【めあての確認】		
展開	(仮) I や自分の名前をローマ字で	<u></u> 書くことができるようにする。	
		べ物を表現できるようにする。	
	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	
	確認しながら、この時間で自分ができ	確認しながら、この時間で自分ができ	
30 分	るようにすることや意識することの	るようにすることや意識することの	
	見通しをもつ。	見通しをもてるようにする。	
	【Step 3 をアレンジした活動①】		
	・本時のめあてと、学習の流れを知る。	・本時のめあて、学習の流れを確認する。	
	デモンストレーションを見て、活動の	・AET (または, 児童と) デモンストレ	

	流れとポイントを理解する。	ーションを行う。	
	・慣れ親しんできた表現を用いて,自分	• Hello. / Nice to meet you. / Nice to	
	の名前と、名前のつづりを伝える。	meet you, too.の表現を確認する。	
	・話し手は、自分の名前に関して正しい	・児童の実態をふまえて設定した、コミ	
	スペルを伝えるか、正しくないスペル	ュニケーションを図る上で育成を目	
	を伝えるかは、児童に委ねる。)	指す姿について共通理解を図る。育成	
	・聞き手は、話し手の名前と伝えられた	を目指す姿と、そうでない姿を、デモ	
	スペルが正しいか確認しながら聞く。	ンストレーションを通して比較でき	
	正しいスペルではないと思った場合	るようにする。	
	は,正しいスペルを伝える。	・育成を目指す姿を意識してコミュニケ	
	やりとりが終わったら、相手のワーク	ーションを図ることができている児	
	シートのサイン欄に自分の名前を大	童を見取り、ほめる。	
	文字で書く。	・困り感のある児童に対し、個別に支援	
		する。	
	[会話モデル例]	【評価】	
	A: Hi, I'm Aoi.	◎思 (互いに名前のスペルを伝え合う活	
	B: Hello. My name is Shoma.	 動を通じて,学習した表現から言いた	
	A: How do you spell your name?	いことを選択したり付け加えたりし	
	B: S-H-O-M-A. Shoma.	て,伝え合っている)	
	A: Good name!		
	How do you spell your name?	○主(活動を通じて、自分の名前や名前	
	A: A-O-E. Aoi.	 のつづりについて,他者に配慮しなが	
	B: No! A-O-I.	ら主体的に伝え合おうとしている)	
	A: Yes! A-O-I. Thank you.		
	Shoma, nice to meet you.		
	B: Nice to meet you, too.		
	【中間のふり返り】	・本時のめあてや、ふり返る際の視点を	
	・本時のめあてや、ふり返る際の視点に	再確認する。	
	沿って、活動をふり返る。	・活動の前半をふり返り, めあてに沿っ	
		て活動できていた児童の具体の姿を	
		取りあげ,ほめる。	
	【Step 3 をアレンジした活動①】		
	・中間のふり返りを生かし、同様に活動	・中間のふり返りを生かし、活動を続け	
	を続ける。	るよう指示する。	
	・ふり返りカードに記入する。	・本時をふり返り、児童のよかったとこ	
	・コミュニケーションの図り方に関する	ろをほめる。・「聞くときに工夫したこ	
41 W	気付きや、言語に関することで気付い	と」「話すときに工夫したこと」を記入	> 10 NH 10 .1.
まとめ	たこと等を発表する。	するよう声かけする。	ふり返りカー
5分		・児童が挙げた気付きにフィードバック	F
		する。	
		・挨拶をする。	

指導計画 5/8時間 (pp.14-15)

本時目標:(仮) 自分の名前と好きなもの・ことを伝え合うことができるようにする。

主な言語材料: How do you spell your name? I like ~. I don't like ~.

What (color, sport, food) do you like? など

準備:指導者用デジタルブック, ピクチャーディクショナリー (PD), ワークシート (WS), 教師用絵カード, ふり返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	
	り、体調等について答えたりする。	り,体調等について尋ねたりする。	
	[Let's sing] Nice to meet you.	・児童と一緒に歌う。	
	・曲を聞き、歌えるところを歌う。	歌えるところを歌うように励ます。	指導者用デジ
	[Let's Chant]	・チャンツを流し、一緒に歌う。	相等 4 用 ノ ン タルブック
	How do you spell your name?		
	・チャンツを聞き, 歌う。		
導入	[Small Talk]	・既習表現を使い,本単元の自己紹介に	
10 分		つながる語彙や表現を入れながら、全	
		体でやり取りしたり、個に尋ねたりす	
	本単元につながる Small Talk として	る。	
	考えられる例	※全体でやり取りしながら、個にも尋ね	
	・当日の給食メニューの話から、好き	ていくことで,学級の実態や個の実態	
	な食べ物や、苦手な食べ物の話へ	を把握できるようにする。	
		・様子を見て、全体でのやり取りと同じ	
		テーマに沿って、ペアでやり取りす	
		る。	
	【めあての確認】		
	(仮)自分の名前と好きな	よもの・ことを伝え合おう。	
	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	
	確認しながら、この時間で自分ができ	確認しながら、この時間で自分ができ	
	るようにすることや意識することの	るようにすることや意識することの	
展開	見通しをもつ。	見通しをもてるようにする。	
30分	【Step 3 をアレンジした活動②】		
30 //	・本時のめあてと、学習の流れを知る。	・本時のめあて、学習の流れを確認する。	
	・デモンストレーションを見て、活動の	・AET (または, 児童と) デモンストレ	
	流れとポイントを理解する。	ーションを行う。	
	・慣れ親しんできた語句や表現を用い	• Hello. / Nice to meet you. / Nice to	PD
	て,自分の名前,好きな色・スポーツ・	meet you, too.の表現を確認する。	
	食べ物を伝える。	・児童の実態や状況に応じて、好きな色・	
	・話し手は、たずねられたこと(好きな	スポーツ・食べ物を伝える際, それらを	
	·	i l	

える三つの情報のうちの一つを,好きではないものを伝える。(つまり、一つ嘘の情報を伝える)

・聞き手は、どの情報が好きではないものであるかを当てる。

[会話モデル例]

- A: Hi, I'm Aoi.
- B: Hello. My name is Shoma.
- A: How do you spell your name?
- B: S-H-O-M-A. Shoma.

 How do you spell your name?

now do you spen your name:

- A: A-O-I. Aoi. Nice to meet you.
- B: Nice to meet you, too.
- A:Shoma, what food (color, sport) do you like?
- B: I like hamburger, noodles and tomatoes.
- A: Tomatoes! (好きではないと予想したもの)
- B: Sorry.
- A: Hamburger!
- B: Yes. I don't like hamburger.
- A: Why?
- B: (Because,) I don't like pickles.

 Aoi, what sport (color, food) do you like? (同様に続けていく)

クショナリーpp.6~8 を参照させても よい。また、部分的に日本語を使用する ことも可とする。

- ・児童の実態をふまえて設定した,コミュニケーションを図る上で育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と,そうでない姿を,デモンストレーションを通して比較できるようにする。
- ・育成を目指す姿を意識してコミュニケーションを図ることができている児童を見取り、ほめる。
- ・困り感のある児童に対し、個別に支援する。

【評価】

- 圏 (相手の好きなものを予想しながら、好きではないものを当てる活動を通じて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、伝え合っている)
- ○主 (活動を通じて、自分の名前、好きなものなどについて、他者に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている)

【中間のふり返り】

・本時のめあてや、ふり返る際の視点に 沿って、活動をふり返る。

- ・本時のめあてや、ふり返る際の視点を 再確認する。
- ・活動の前半をふり返り、めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を 取りあげ、ほめる。

【Step 3 をアレンジした活動②】

・中間のふり返りを生かし、同様に活動 を続ける。

[Step 1 · 2]

- ・名刺カードを切り取り、自分の名前を 大文字で書く。
- ・名刺カードの名前の下に、好きなものやことなどについて描く。
- ・中間のふり返りを生かし、活動を続けるよう指示する。
- ・巻末コミュニケーションカード (名刺 カード) を一枚切って用意させる。
- ・自分の名前(名)を書くように指示す る。分からない場合は、本体 p.85 を見 るように指導する。
- ・同じカードに自分の好きなものやこと を描くように指示する。

巻末コミュニ ケーションカ ード

・本時をふり返り, コミュニケーション	ろをほめる。	
の図り方に関する気付きや,言語に関	・「聞くときに工夫したこと」「話すとき	ふり返りカー
することで気付いたこと等を発表す	に工夫したこと」を記入するよう声か	ぶり返りカー
る。	けする。	r
	・児童が挙げた気付きに価値付けする。	
	・挨拶をする。	
	の図り方に関する気付きや, 言語に関 することで気付いたこと等を発表す	の図り方に関する気付きや、言語に関 ・「聞くときに工夫したこと」「話すとき することで気付いたこと等を発表す に工夫したこと」を記入するよう声か けする。 ・ 児童が挙げた気付きに価値付けする。

指導計画 6/8時間 (pp.14-15)

本時目標:(仮)名刺交換をして、名前や好きなもの・ことなどを伝え合うことができるようにする。

主な言語材料: My name is~. I'm~. I like ~. What (color, sport, food) do you like? など

準備:指導者用デジタルブック, ピクチャーディクショナリー (PD), 巻末コミュニケーションカードとそのコピー (人数分)

時間	ー(人剱分) 児童の活動	指導者の活動	準備物
. 3 143	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	MI IN
	り、体調等について答えたりする。	り、体調等について尋ねたりする。	
	[Let's Chant]	・チャンツを流し、一緒に歌う。	
	How do you spell your name?	, (v) condo, materials	指導者用デジ
	・チャンツを聞き,歌う。		タルブック
	[Small Talk]	└── ・既習表現を使い,本単元の自己紹介に	
		 つながる語彙や表現を入れながら,全	
導入		体でやり取りしたり、個に尋ねたりす	
8分		ر ا ا	
	本単元につながる Small Talk として	 ※全体でやり取りしながら, 個にも尋ね	
	考えられる例	 ていくことで,学級の実態や個の実態	
	・自分の名前と名前のつづり	 を把握できるようにする。	
		│ ・様子を見て,全体でのやり取りと同じ	
		テーマに沿って、ペアでやり取りす	
		る。	
	【めあての確認】		
	(仮) 名刺交換をして, 名前や好	きなもの・ことなどを伝え合おう。	
	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	
	確認しながら、この時間で自分ができ	確認しながら、この時間で自分ができ	
	るようにすることや意識することの	るようにすることや意識することの	
	見通しをもつ。	見通しをもてるようにする。	
	【Step 3 をアレンジした活動③】		
展開	・本時のめあてと、学習の流れを知る。	・本時のめあて、学習の流れを確認する。	
32 分	・デモンストレーションを見て、活動の	・AET(または,児童と)デモンストレ	
	流れとポイントを理解する。	ーションを行う。	
	・慣れ親しんできた語句や表現を用い	・児童の実態や状況に応じて、好きな色・	AET・IUI 用
	て、自分の名前や名前のつづり、好き	スポーツ・食べ物を伝える際、それら	プロフィール
	なものなどを伝える。	を表す語句については、ピクチャー	帳
	・AET が名前のつづりを正しく把握で	ディクショナリーpp.6~8 を参照さ	16.5
	きていない場合には、児童がスペルを	せてもよい。また、部分的に日本語を	
	伝え直したり、ALTに記入を求められ	使用することも可とする。	
	た場合は、シートに記入したりする。	・児童の実態をふまえて設定した、コミ	
	・自己紹介後に、名刺カードを渡す。	ュニケーションを図る上で育成を目	

		1	
	・全体の前で、AET と一人ずつコミュを 行う。	指す姿について共通理解を図る。育成 を目指す姿と、そうでない姿を、デモ	
	・実態に応じて、AET とやりとりしない	ンストレーションを通して比較でき	
	時間帯の児童は、相手を替えながら、	るようにする。	
	同様のやりとりを児童同士で行う。	3 & 7 (C) · 3°	
	同様のくりこうで児童同工で行う。	・困り感のある児童に対し、個別に支援	
	[会話モデル例] A: AET C: 児童	する。	
	A: Hi.	・AETは、子どもとのやり取りで分か	
	C: Hello. My name is Shoma.	ったことを, 「AET・IUI 用プロフィー	
	A: How do you spell your name?	ル帳」に記入していく。	
	C: S-H-O-M-A. Shoma.	・状況に応じて AET は,意図的に聞き	
	A: Shoma. S-H-O-M-E?	違えたり、児童に書き記すよう依頼し	
	C: No. S-H-O-M-A. A!	たりすることで,書く必要性のある状	
	A: Thank you. Nice to meet you.	況を演出してもらうよう依頼してお	
	C: Nice to meet you, too.	<.	
	A: Shoma, what food (color, sport) do		
	you like?	【評価】	
	C: I like ramen.	◎思 (自分のことについて紹介する活動	
	A: Me, too. I like miso ramen.	— を通じて,学習した語句や表現から言	
	C: Good. My card, here you are.	いたいことを選択したり付け加えた	
	A: Thank you. Nice to meet you.	りして,伝え合っている)	
	C: Nice to meet you, too.	○主 (活動を通じて, 自分の名前や名前	
	C: Bye!	 のつづり, 好きなものなどについて,	
	A: See you!	他者に配慮しながら主体的に伝え合	
	(同様に続けていく)	おうとしている)	
	【中間のふり返り】	・本時のめあてや、ふり返る際の視点を	
	・本時のめあてや、ふり返る際の視点に	再確認する。	
	沿って、活動をふり返る。	・活動の前半をふり返り、めあてに沿っ	
		て活動できていた児童の具体の姿を	
		取りあげ,ほめる。	
	【Step 3 をアレンジした活動③】		
	・中間のふり返りを生かし、同様に活動	・中間のふり返りを生かし、活動を続け	
	を続ける。	るよう指示する。	
	・ふり返りカードに記入する。	・本時をふり返り、児童のよかったとこ	
	・コミュニケーションの図り方に関する	ろをほめる。	
	気付きや、言語に関することで気付い	・「聞くときに工夫したこと」「話すとき	
まとめ	たこと等を発表する。	に工夫したこと」を記入するよう声か	ふり返りカー
5分		けする。	F
		・児童が挙げた気付きにフィードバック	
		する。	
		・挨拶をする。	

指導計画 7/8時間 (pp.16-17)

本時目標:(仮)世界の名前について考え、世界と日本についての理解を深める。

主な言語材料: What is your name? I'm \sim . My family name is \sim . I'm from \sim . I live in \sim .

準備:指導者用デジタルブック,教師用絵カード,ふり返りカード

時間	学者用アングルアック,教師用転み一下, る 児童の活動	指導者の活動	準備物
	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	
/ / →	り、体調等について答えたりする。	り,体調等について尋ねたりする。	
導入	[Let's Chant]	・チャンツを流し、一緒に歌う。	
3分	How do you spell your name?		指導者用デジ
	チャンツを聞き、歌う。		タルブック
	【めあての確認】		
	(仮)世界の名前について考え,世	界と日本についての理解を深めよう。	
	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	
	確認しながら、この時間で自分ができ	確認しながら、この時間で自分ができ	
	るようにすることや意識することの	るようにすることや意識することの	
	見通しをもつ。	見通しをもてるようにする。	
	【Do you know?】		
	・これまでの国際理解教室で学習した国	・これまでの国際理解教室で学習した国	
	の文化等を発表する。	の文化等を尋ねる。	
	・教科書内に出ているアメリカ,ベトナ	・アメリカ,ベトナム,サウジアラビア	
	ム,サウジアラビアという異なる名前	の子どもたちの名前を通して、異なる	
	の文化について意見を発表する。	文化について考えさせる。姓名の並び	
展開	・クイズの答えを予想し、空欄に答えを	方,姓と名の間にある名前の持つ意味	
37 分	記入する。	など、それぞれの名前の文化について	
31 /3	・答え合わせをする。	説明する。	
		【評価】	
		○主(主体的に世界の名前について知ろ	
		うとし,世界と日本についての理解を	
		深めようとしている)	
	[Challenge]		
	・指導者からの問いに My family name	・I'm (名). My family name is (姓).	
	is ~. と自分の姓を答える。	と言い,自己紹介のモデルを見せる。	
	・自分の姓名をペアで伝え合う。	・My family name is ~.で, 姓を表すこ	
		とができることに, スモールトークを	
		通して気付かせる。	
		・What is your family name?と児童に	
		たずねる。	
		・モデルに合わせて、ペアで活動するよ	
		うに指示する。	

		T	
	【ことば探検】 ・英語の「I」にあたる,自分を表す日本語を空欄に記入し,発表する。 ・気付いたことを右のメモ欄に記入し,発表する。	 ・英語の「I」にあたる,自分を表す日本語を空欄に記入させる。記入したことを発表させる。 ・日本語と英語を比べてみてどんなことを感じたのか書くように指示する。 ・日本語の表現の豊かさなど,気付いた 	
	【日本のオブキ】 Dago Dia 11 (ロフ	ことを発表させる。 【評価】 ○主(世界と日本についての理解を深め ようとしている)	
	【日本のすてき】Ross Findlay(ロス・フィンドレー)さん ・Findlay さんについての映像や音声を聞き、おおよその内容を理解する。 ・空欄に答えを記入する。	・日本で活躍している外国人について学ぶことを伝える。 ・まず全体を一回流し、その映像や音声を通じて、Findlay さんがどんな仕事をしているか聞き、答えを空欄に日本語で記入するよう指示する。 ・Findlay さんの仕事が adventure guide であることを確認する。 ・もう一度視聴させ、分かったことを記入するよう伝える。以東が理解していない様なら、複数回聞かせる。 1) 出身地 (オーストラリア) 2) 今住んでいるところ (北海道・ニセコ) 3) 夏の好きなスポーツ (ラフティング・マウンテンバイキング) 4) 冬の好きなスポーツ (スキー) 【評価】 ○主 (世界と日本についての理解を深めようとしている)	指導者用デジタルブック
まとめ 5 分	・ふり返りカードに記入する。 ・名前の文化や風習に関する気付きや, 言語に関する気付きを発表する。	・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。・児童が挙げた気付きにフィードバックする。・挨拶をする。	ふり返りカー ド

指導計画 追加1時間 (pp.16-17)

本時目標:(仮) Over the Horizon の学習で得られた疑問や関心ごとについて調べることを通して、日本と実態と比較しながら、世界と日本についての理解を深めよう。

準備物:世界地図、諸外国の文化・風習等が記されている図書・資料、PCもしくはタブレット、写真など

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
	【めあての確認】		
	(仮)世界の名前について考え,世	界と日本についての理解を深めよう。	
	- ・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	
	確認しながら、この時間で自分ができる	確認しながら、この時間で自分ができる	
	ようにすることや意識することの見通	ようにすることや意識することの見通し	
	しをもつ。	をもてるようにする。	
	【調べ学習の対象を選択する】		世界地図, 諸外国の
	・調べ学習の対象を選択する	 ・名前に関する他国の文化の学習を通し	文化・風習等
1445	 ①自分の苗字の由来について調べる。	て、自分の名前に立ち返ることで、ア	が記されてい
横浜の	②Over the Horizon を通して, 知りたく	イデンティティの育成・高まりにつな	る図書・
時間	なった他国の名前の文化、その他の文	げる。	資料,
45 分	化や関心事について調べる	・名前以外の観点で、興味をもった文化・	PC,
		風習等と出会う機会をつくる。	もしくは
	【各自が調べたことを発表する】	・図書室や PC ルーム等,調べ学習に適	タブレット,
	・自分の姓の由来を発表する。	した学習環境を整える。	写真など
	・他国の文化等について、調べたことを	・困り感のある児童に対し、個別に支援	
	伝える。	する。	
	・発表を聞きながら、他国の文化等につ	【評価】	
	いて日本との比較を通して,世界と日	○主(活動を通じて、自分の関心ごとの	
	本についての理解を深める。	探求に向かって主体的に取り組んでい	
	・文化や風習に関する気付きや、言語に	る)	
	関する気付きを発表する。	・児童の発表や気付きをまとめたり、日	
		本の文化との同異を整理したりする。	

指導計画 8/8時間 (pp.16-17)

本時目標:(仮)国際理解教室を担当する外国人非常勤講師(International Understanding Instructor 以下、IUI) による,自国の文化や名前に関すること等について聞いたり質問したりしながら日本との比較を通して,世界と日本についての理解を深める。

主な言語材料: This is ~. I like ~. Do you know~? など

準備物:世界地図、PC、写真

時間	世界地図,PC,写真 児童の活動	指導者の活動	準備物
	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶した	
	り,体調等について答えたりする。	り、体調等について尋ねたりする。	
	・IUIの自己紹介を聞く	・必要に応じて,自己紹介を行う IUI の	
		サポートをする。	
	・IUI の国の言葉やジェスチャーを用い	・児童と一緒に、IUIの国の言葉やジェ	
導入	て,IUI や児童同士で挨拶を行う。	スチャーを用いて,IUIと挨拶を行う。	
15 分	・IUI の母国の地理に関する情報を聞		
10 /)	< ∘	・必要に応じて, IUI のサポートをする。	
	(国旗,世界地図内の位置,面積,人口,	・困り感のある児童に対し、個別に支援	世界地図
	時差,季節等)	する。	PC
			写真
	・IUI が示す情報を、日本と比較しなが		
	ら,共通点や相違点を見出す。		
	【めあての確認】		
	(仮) IIII によろ 自国の文化や名前	fに関すること等について聞いたり尋ねた!)
		世界と日本についての理解を深めよう。	
	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を	
	確認しながら、この時間で自分ができ	確認しながら、この時間で自分ができ	
	るようにすることや意識することの	るようにすることや意識することの	
	見通しをもつ。	見通しをもてるようにする。	
	【Do you know; IUI】		
展開	・IUIの母国の文化や風習に関する情報	・IUI が示す情報や学習のテーマを	世界地図
25 分	を聞く。	Over the Horizon と関連付くように	PC
25 A	・名前に関する文化、有名な物や風習等	する。	写真
	について日本と比較しながら,共通点		子具
	や相違点を見出す。		
	[Q&A]		
	・疑問に思ったことや聞きたいことにつ	・必要に応じて,児童と IUI の意思疎通	
	いて質問する。	をサポートする。	
		【評価】	
		○主(活動を通じて、自分の関心ごとの	
		探求に向かって主体的に聞いたり、質	
		問したりしている)	

	・ふり返りカードに記入する。	・児童の発表や気付きをまとめたり、日	
	・文化や風習に関する気付きや、言語に	本の文化との同異を整理したりする。	
まとめ	関する気付きを発表する。	・児童が発表した気付きに価値付けする。	ふり返りカー
まとめ 5 分	・疑問に思ったことや聞きたいことにつ	・ふり返りにおいて、もっと深く知りた	より返りが ド
3 π	いて質問する。	いことが出た場合は,次回の Over the	r
		Horizon に関連付けるようにする。	
		・挨拶をする。	